

シグマ研究委員会核構造崩壊データ・
ワーキング・グループ第9回会合議事録

1. 日 時 昭和53年3月16日(木) 13:30~17:30

2. 場 所 原研東京本部 第22会議室

3. 出席者 (順不同)

中嶋(法大), 池上(阪大), 寺沢(東大), 久武(東工大), 吉沢(広大), 山田(早大), (以上アドバイザー・グループ)

天道(理研), 橋爪(理研), 神戸(東工大), 宮野(新潟大), 大矢(新潟大), 松本(原研), 田村(原研), 喜多尾(放医研), (以上評価作業グループ)

4. 配布資料

1) ORNL会合報告

2) 質量連鎖評価マニュアル

3) ENSDF処理プログラム・リスト

4) A=121評価データ(TENTATIVE)出力

5. 議 事

1) ORNL会合報告(田村)

昨52年11月ORNLで開かれた。イ) IAEA主催, 核構造崩壊データ第2回諮問会合ならびに ロ) ORNL-核データ・プロジェクト主催の核構造データ評価者のためのワークショップに参加した田村(原研)から配布資料(1)にもとづいて概要が説明された。イ) では各国の現状報告のほか, Table of Isotope(第7版)の出版計画, BNL-325改訂版などHORIZONTAL DATAの評価の進行状況と18項にのぼるACTIONと2項目の勧告(種々のREFERENCE VALUEの流布の防止, 質量連鎖評価の出発点をNUCLEAR DATA

SHEETS の INTRODUCTION に置くべきこと)などが紹介されて、ロ)については、新入り評価者のために行なわれたオリエンテーションの内容の紹介と、わが国から持って行った A = 121 質量連鎖評価の Tentative Results に対する Y. A. ELLIS (ORNL - 核データプロジェクト) の Mini Review の紹介が行なわれた。

2) 入手した ENSDF 処理用プログラムについて配布資料(3)にもとづき、ORNL が現有する ENSDF 処理用プログラムの説明と ORNL から持ち帰った分のプログラムの利用、テスト状況が田村(原研)より説明された。このうち FORTRAN IV で書かれたものについては、原研 FACOM で働される状況にあること。PL/I で書かれたものについては今のところ原研では処理できない。

3) A = 121 評価について

現在、評価グループによって行なわれている A = 121 連鎖の作業状況中間報告が行なわれた。まず田村(原研)が各担当者から出された原稿から作成して評価データ出力(配布資料(4))にもとづき総括説明を行ったほか、その評価の基礎として使われた ORNL 核データプロジェクト作成の ENSDF マニュアル(配布資料(2))を紹介した。

それぞれ核種各論については、各担当者から説明があり、実験データの間の不一致の処理、異なった型の反応の間のスペクトロスコピック因子の取扱い方について問題が出された。アドバイザー・グループからは、REFERENCE 値のない Q 値の扱いについては、ORNL の Policy について問い合せて見る必要があること。各分担者の間でデータ、誤差の扱い、コメント等表現上の不統一が認められることなどが指摘された。

4) 53 年度計画

A = 121 については、4 月中に完成し、ORNL へ送り NDFLIST で出力してもらい、NUCLEAR DATA SHEETS の形にしてアドバイザーグループに Review してもらうその時期は 5 月中旬を予定。

新しい質量連鎖 (A = 123, 125.....) への Action 開始は A = 121 のメドがついてからにする。ただし, REFERENCES 入手など ORNL への連絡は進めることが了承された。

5) 核データの利用について

ORNL から原研あて, 磁気テープに入れた ENSDF および CUMULATIVE RECENT REFERENCES が送られてくることになっている。これは「日本」へ来たものとみなし, その普及につとめたい旨, 田村から報告された。しかし, 実状としては原研核データセンターの手不足から, 需要を迅速にさばける状況にはないことも指摘された。

また, この普及に関連して, 核データ研究会のようなものを開いたらどうかとの提案があった。その他, 議事(3)に掲げた ENSDF 処理用プログラム使用上の著作権が質問された。この問題は前記第2回諮問会合でも Action の1つとして取上げられており, その結果を見ることになった。

6) 次回予定

5~6月に A = 121 評価データの検討を中心にして開くことが承認された。